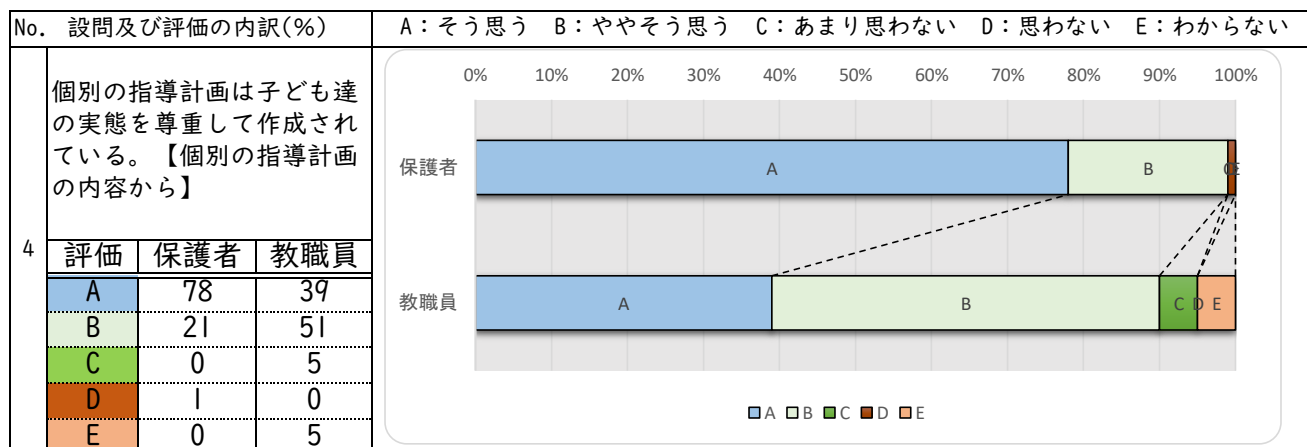
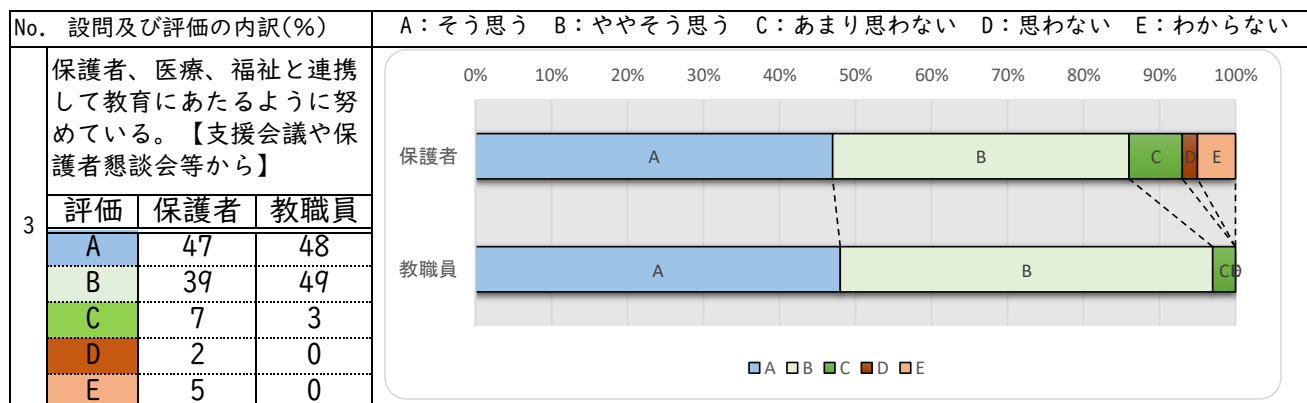
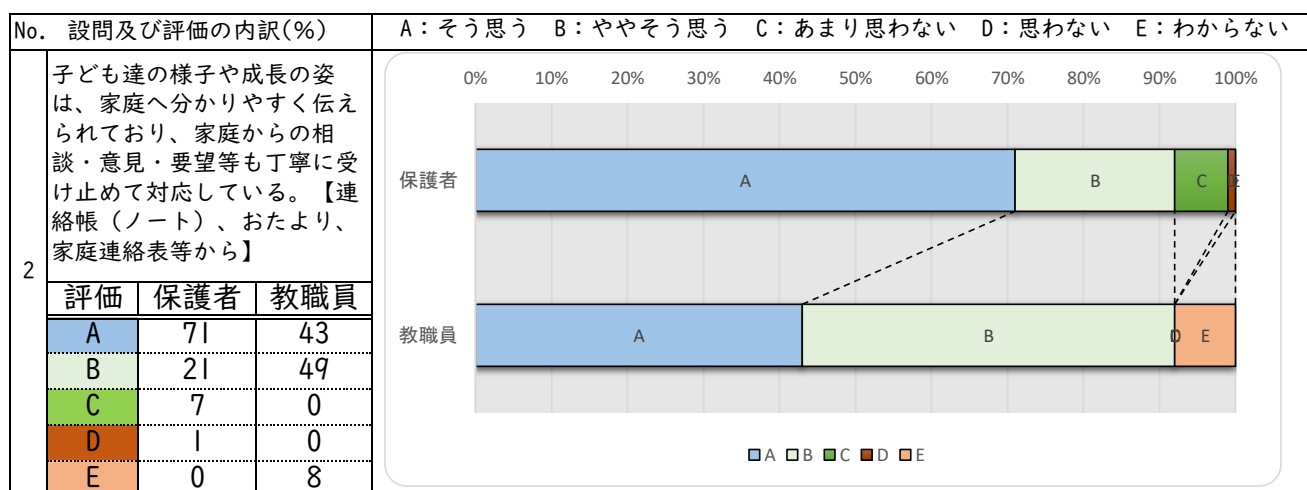
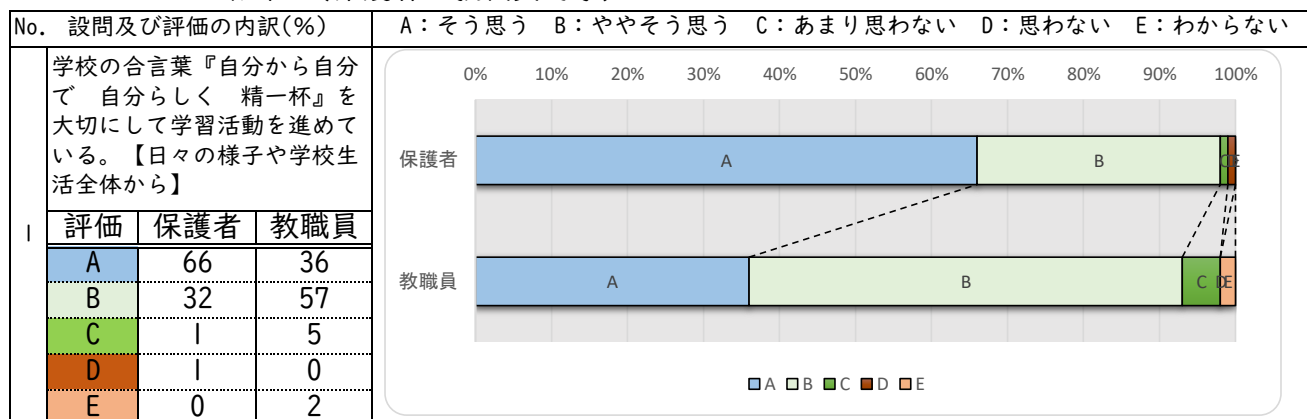
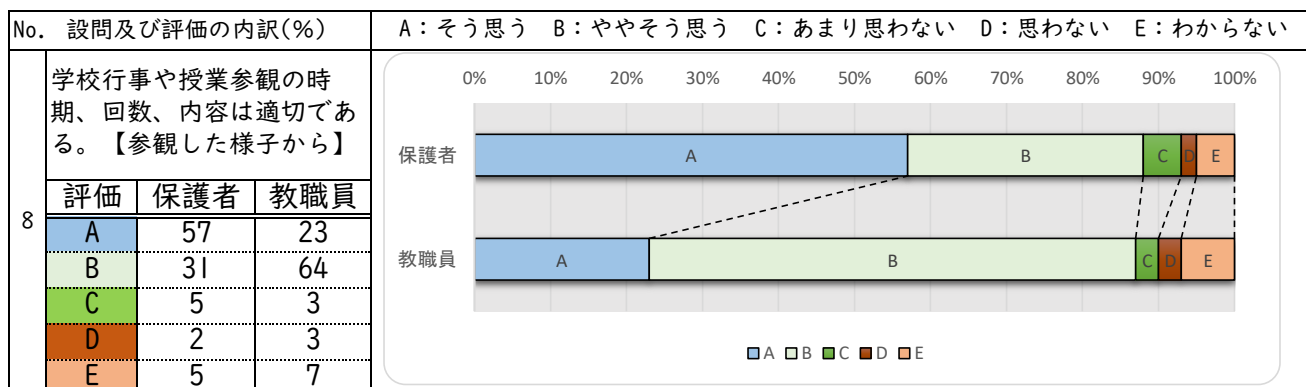
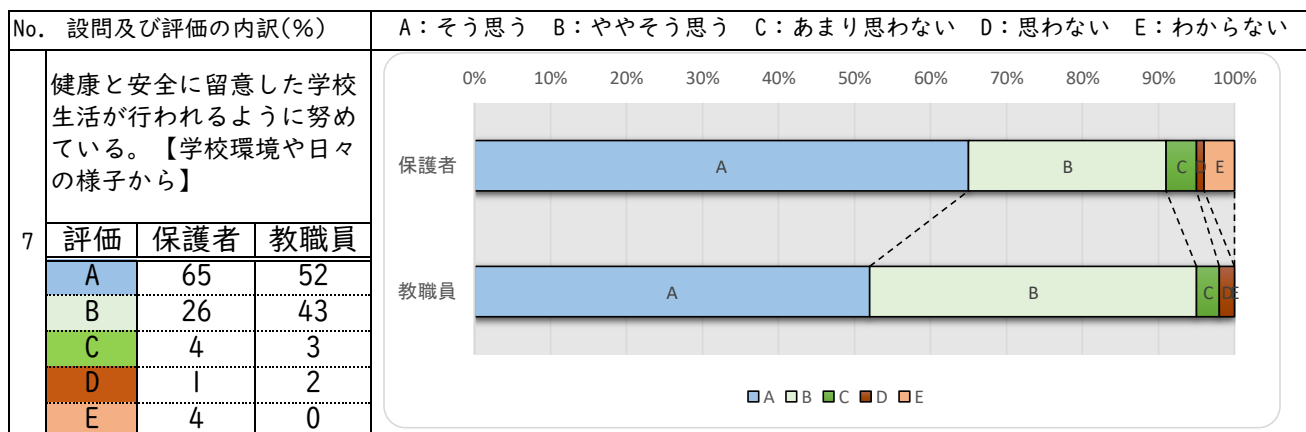
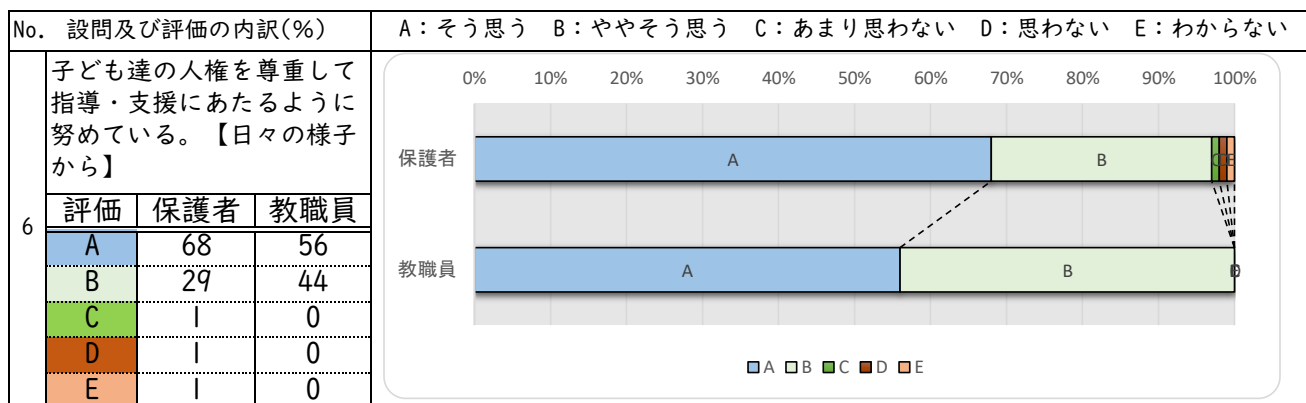
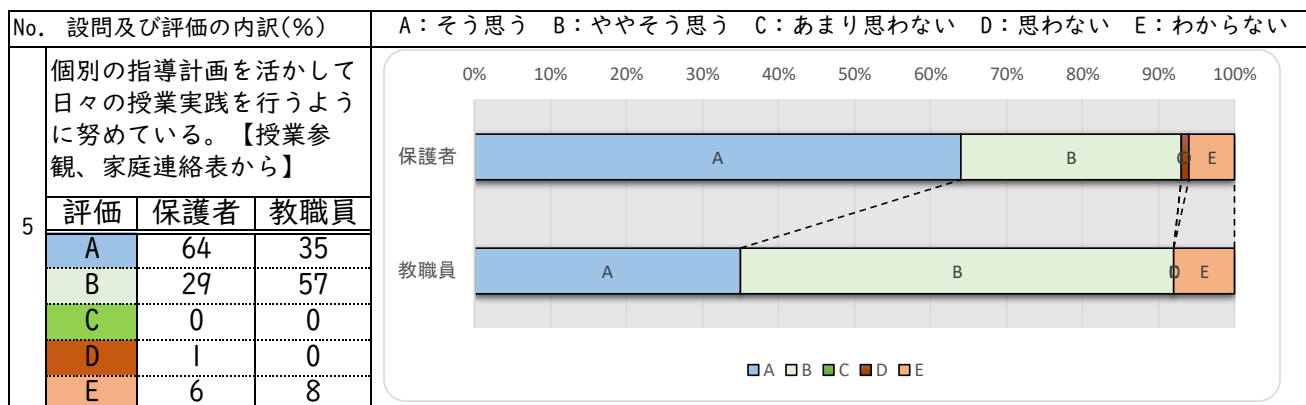


令和6年度学校評価まとめ

I アンケート結果（保護者・教職員対象）





2 寄せられたご意見やご要望

多くのご意見やご要望が寄せられました。あたたかな言葉や職員へのお気遣いなど、大変励みになる内容も多く寄せていただきました。また、ご指摘もいくつかいただきました。来年度の運営に活かせることを取組んでいきたいと考えております。

<いただいたご意見やご要望（一部紹介・要約）>

- 少しずつ自分で出来ることを増やしている。毎日楽しく通えていて嬉しい。
- 他の会で司会を行う姿など学校生活の良い様子をそのまま観ることがある。
- 忙しい中支援会議を開いていただき、統一した支援をしていただけてありがたい。
- 本人のこうしたいをまず受け入れてくれる対応がありがたい。
- 子どもの個性を見極め、指導計画を立てていただき満足している。
- 連絡帳で様子を教えていただきありがたい。場合によって電話をいただき丁寧だと思う。
- 残念だったことを後から聞かされ、対応に困ったことがある。
- 学校、支援相談員、事業所それぞれで支援会議がある。同じ話で無駄に感じることもある。
- 保護者や子どもの立場に立ち、もう少し柔軟に考えてほしいと思うことがある。
- 参観できる日が数日あると、都合を合わせやすい。
- 授業参観は多めだと思う。

3 学校評価委員会の考察（まとめ）

（1）学校評価アンケートからみた本年度の成果

- ・「設問1」の「A・B」を合わせた人数からも、多くの保護者の皆様が学校の教育活動に好意的であり協力的であることが伺えました。大変ありがたいことだと受け止めています。
- ・「個別の指導計画」については、児童生徒の一人一人の捉えや課題設定、支援・指導の方向などが概ね適正な内容である事、その内容にご家庭の希望も取り入れられておりおおよそ満足いただいていることが伺えました。また、学校はご家庭の願う児童生徒の成長の方向に共に寄り添いながら取り組んでいることが伺えました。
- ・毎日の連絡帳でのやり取りやお便りの発行により、児童生徒の学校での様子を分かりやすくお伝えでき

（2）来年度、大切に取り組みたいこと

- ・ご家庭にお伝えする内容として、児童生徒の成長に関わって必要な内容や正確な内容についてお伝えするように今後も努めて参ります。ご家庭と共に考え協力していかれる学校を目指して参ります。
- ・交流や参観日等の行事について、今後も進められる学校整備の進み具合をみながら、児童生徒にとってよりよい機会となるように調整を進めて参ります。
- ・本年度、保護者の皆様からの回答率は53%でした。資源の有効利用の観点からプリント（紙）配布を控え、グーグルフォームの活用のみで行ったことも要因と考えられます。必要に応じてプリントでの配布も検討したいと考えております。また、楽メ（メール配信サービス）やお便り等で回答をお願いする機会を増やすことも考えます。

4 学校評議員の皆様からのご意見（2月）

アンケートの回答率に関して、保護者の方の思いが学校へ届いていないこともあるので考慮したい点。他の事でもそうだが、新しい時代の流れの中で人々にどう関心を持って参加していただくか課題とすることがある。

日々の担任の先生のきめ細かな対応を見ると、学校へ全て要求していくのは難しいと感じる。支援会議等で関係を広げていかれるように、それぞれの立場から協力し合いたい。会議のねらいを明らかにした上で「どうしていくのが良いか」一緒に考え合える雰囲気の方が大事だと思う。

以上